

リハビリ通信

12月3日 国際障害者デー



12月3日は「国際障害者デー」です。1992年国連が国際障害者デーを定めたことで、日本では12月3日～9日を「障害者週間」とし、障害をもつ方々への理解とあらゆる分野への社会参加を促進するため様々な取り組みが行われています。

最近では、医療機関だけでなくバスに乗っていても案内に「筆談具を準備しています」と表示されていたり、手話で接客をしてくれるお店もみられます。ことわざ「目は心の鏡」、四字熟語「以心伝心」等がありますが、コミュニケーション手段は、決して音声言語だけではありません。

今回は、言語聴覚士より拡大・代替コミュニケーション（AAC：Augmentative & Alternative Communication）を少し紹介します。

拡大・代替コミュニケーション（AAC）は3種類



ノンテクノロジー・・・自分自身の身体機能を駆使したコミュニケーション手段

うなずき、指差し、視線、表情

手話、指文字、身振り（サイン）等



主に紙媒体で行うコミュニケーション手段・・・ローテクノロジー

筆記具、文字盤、コミュニケーションカード等

ハイテクノロジー・・・ICT機器を使用したコミュニケーション手段

パソコン、タブレット、スマートフォン等に標準装備された機能やアプリケーションの活用

音声出力機能をもつ機器 等

